



# 美方の進路

～秋はただ今宵一夜の名なりけり 西行～

## 「気づく人100人、始める人10人、続ける人1人」 1年対象進路講演会（9/15）

文系理系の選択を2学期に行う1学年、外部講師を迎えた生徒向けの講演会を実施しました。また夜は保護者対象に外部講師から進路講演会を、また本校教員から文理わけについて具体的な説明が行われました。



自転車の例にたとえて、「前輪が進路」、「後輪が学習」との話が印象に残った。

勉強は頑張っているのに、何か不安になるのは進路が定まっていないからなのかなと思った。

県連模試の1点には、約1万人いると聞き驚いた。

あまりに進路を厳格に決定してしまうと悔いが残りそうだなとも思った。

「きっかけ=志望理由」では不十分なのだ。

## 「福井県進学サポートセンター」参加報告：1年（9/23）

難関大学志望生徒をサポートする会に、福井県下で64名の1年生が参加しています。

本校から参加した生徒の声を紹介します。

文章を読むときに、どこにどうやって線やマークをつけながら読むとよいかがわかった。

高校では進度が早く、「基礎や考え方」を十分に理解せず、なんとなく問題を解くことが多かったが、今後はそれでは通用しないと感じた。やはり土台となる「基礎と考え方」がどこまでも大切なのだ。

学習会では、それほど難易度の高い問題ではなく、むしろ簡単で基礎的なことをわかりやすく復習してくれた。大切なのは、やはり自主学習なのだ。



## 「自己理解を深め社会理解につなげていく」 2年保護者対象進学講演会（9/22）

新しい入試制度、入試情報について外部講師を招き説明会が行われました。

2年生保護者、生徒、計38名が参加してくれました。

今の時期に立てる目標の在り方がわかり参考になった。  
自分達の受験とは本当に内容が変わっていることに驚いた。

最新の入試情報や新しい入試の形式がわかつてよかったです。

講師の方のリアルな実体験からのお話を、子どもに聞かせてくださる機会があって嬉しい。

大変わかりやすくて良かった。親子で聞くことができて気持ちが変わらるような気がします。家庭でも共通した話題として話ができる。



我が子が自己理解を深められるように、どのような言葉をかけてあげればよいか、悩ましい。

「なぜ○○したいのか?」、「どのようにして○○に取り組みたいか」を深く考えて進路を決めていきたい。

ここからの頑張りが自分の進路につながると思うので、目標に向かって頑張っていきたい。

ただ毎日を過ごすのではなく、ボランティアや自分がこの高校で頑張れたことなど、たくさん書けるように、子どもには卒業まで進んでほしい。

行ける大学ではなく、行きたい大学を目標にすることが大切だと感じた。

〈当日いただいた主なご質問〉

### Q 総合型選抜とは、どのような入試ですか？

A 大学によって様々ですが、例えば滋賀大学(教育) R4年度入試の場合、

[第1次選抜] 大学教員による講義を受けて、小論文を書く。

[第2次選抜] 第1次選抜の通過者に対して、課題図書（隠岐さや香著『文系と理系はなぜ分かれたのか』）が提示され、その内容に関するポスター発表（質疑応答を含む）を行う。ポスターは、各自で作成し当日持参。ポスターの大きさはB1サイズ（728mm×1030mm）。

### Q 一般選抜の面接では特にどのようなことが聞かれますか？

A 主要な質問は「志望理由」です。自分なりになぜ、その進路先なのか、この学校でないといけない理由について、きっかけから自ら調べ、体験し志望を固めていった過程も含めて作成できると説得力が出てきます。

### Q なぜ全国的に、総合型・学校推薦型の入学者が増えてきているのですか？

A 急速な社会構造の変化、予見困難な現代では、新たな価値を柔軟に創造していく力が求められます。従来の「知識、技能」だけでなく「思考力・判断力・表現力」や「主体的に学ぶ態度」を大学側も入学者選抜において、多面的・総合的に評価しようという改革の表れです。

### Q 大学進学がメインでしたが、他方向への進路についてもお話しいただけるとよかったです。

A 12月保護者懇談会（12/22）にて、2年保護者対象就職説明会を行います。今年度の就職状況も含めて説明させていただきます。また3学期には多方面の専門学校の方をお招きし、ガイダンスを実施します。